

人とつながる 気持ちがつながる
—自分からつながろうとする
コミュニケーション力を育む—



今年度は“つながる”を合言葉に、家庭や地域の方と連携を取りながら、自分をとりまくさまざまなこととつながろうとする力を育くことができました。

本年度の主な取り組みの成果

- いろいろな人とつながるうれしさを感じる
 - ・縦割り保育の“なかよし家族”で、憧れや感謝の気持ちを持ち、相手を気にかける思いやりの心が育っています。
 - ・保育園児との体操、小学生とのふれあいや地域の方とのさまざまな行事などを通して、いろいろな人に親しみの気持ちをもつことができました。
- 地域に出掛け、地域とつながる
 - ・野添コミセン夏祭りやクリーンキャンペーンのごみ拾い、地域の自然の中へ出掛ける体験などを通して地域を身近に感じることができました。
 - ・保護者に盆踊りや秋祭り、ラジオ体操や地蔵盆など、地域の行事の情報を提供し、家族での参加を呼び掛けることで、子どもは地域で育つことを実感してもらいました。

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切にしながら、つながりの輪を広げていきたいと思ひます。

▶問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545

平成28年度播磨町の教育

播磨町立中学校、小学校、幼稚園の本年度の【教育スローガン】及び【成果と課題】をご報告します。広報はりま6月号でお伝えした【教育方針】とあわせてご覧ください。



いきいきと表現する子どもに
～健やかでたくましく、
はじめある子どもを目指して～



今年度は、遊びや生活の中で心も体も健やかに育つように、また、さまざまなことに興味をもって遊びが展開できるように、家庭や地域と連携して、環境や援助の工夫に取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

- 生活を通して
 - ・さまざまな直接体験ができる場を大切にしたり、体を思いっきり動かして遊んだりする中で、苦手なことでもあきらめずにやってみようとする気持ちが育ってきています。
 - ・教師や友達、異年齢児との温かいふれあいの中で、心豊かに感じたり、考えたり、周りの人たちのさまざまな気持ちに気付く姿が見られるようになってきました。
 - ・園生活のきまりの必要性について考えることにより、してよいこと・よくないことを自分で判断できるようになってきています。
- いろいろな人との関わりを通して
 - ・シニアクラブや絵本ボランティア、小学生、中学生など、地域のさまざまな人とふれあう中で温かい気持ちを感じたり、いろいろな人に親しみの気持ちをもてたりできるようになってきました。

今後も、家庭や地域の皆さまとの連携を大切に、いろいろなことに意欲的に取り組み、自信をもって行動できる幼児の育成を目指してまいります。

遊ぶ・つながる・育ち合う
—遊びが豊かな学びにつながるように
教師の援助や環境構成の在り方を考える—



今年度は、遊びを通して経験したことが学びにつながるよう、幼児同士が互いに育ち合えるように環境構成を工夫したり、幼児の姿に合わせて再構成したりするなど、一人一人に応じた援助を考えて、保育に取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

- いろいろな遊びが学びにつながるように
 - ・遊びの中で自分のイメージしたことを実現させようと試行錯誤したり疑問に感じたことを先生や友達に聞いたりして、自分で調べようとする探究心が育ってきています。
 - ・何度も繰り返し、「めあて」をもって挑戦することを認めてきたことで、あきらめない気持ちが強くなり、達成した時の喜びを味わったりして、自信をもつことができるようになってきました。
- いろいろな人とのつながりが深まるように
 - ・遊びの中で互いの思いを出し合い、受け入れ合うことで、より遊びが楽しくなっていくことを感じられるようになってきました。
 - ・異年齢児とのかかわりを通して、憧れの気持ちや相手を気にかける思いやりの気持ちが育ってきました。
 - ・小学生や中学生、地域の方々などさまざまな人との触れ合いを通して、優しさや心のぬくもりを感じ、より親しみをもってかかわろうとする気持ちが育ってきています。

今後もさまざまな人とのかかわりを深めながら、体験したことが学びへとつながるように幼児一人一人を支えていきたいと思ひます。

夢かがやき とともに学びをきりひろく 心豊かな西っ子の育成



本校では、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るとともに、主体的に取り組む学習態度の育成、また、豊かな心と困難にくじけないたくましい健康な体を備えた真の「生きる力」を育成するよう取り組んできました。

本年度の主な取り組みの成果

知（よく考える子）

毎朝の「のびのびタイム」では、発声練習の後、計算・視写・音読・お話タイム・読書を継続的に取り組み、

基礎学力を身につけるための環境づくりを進めています。また今年度は、さらに国語科の学習の進め方においての研究に取り組んでいます。

徳（思いやりのある子）

以前から、道徳教育の研究を行っており、今年度も研究授業を中心に研修を実施しています。11月のオープンスクールでは、全学級において道徳の授業を公開しました。また、感謝の気持ちを持って生活しようというめあてのもと、「ありがとう」を合い言葉に良い関係づくりに努めています。

体（明るく健やかな子）

なわとびや持久走（ランランタイム）で、自分の記録に挑戦し、たくましい体と頑張り続ける心の成長を目指しています。また保健委員会では、「西小ヒーローアンとシン」のビデオを制作し、全校放送で安全衛生について啓発活動を行いました。

おわりに

今年度は、体育館改修に伴い運動会の練習をはじめ日々の授業などで不自由な点もありましたが、保護者並びに地域の方々のご理解とご協力、そして支えによって大きな混乱もなく、教育活動を行えたことを感謝しております。

夢と希望を持ち、社会的自立を目指して学び合う南っ子の育成



南小だいすき！

子どもたちがさまざまな力をつけていくもとは、一人一人の学ぼうとする気持ちであり、友達と共に早く行きたい、通いたくてしかたがない学校の存在です。

そこで、本年度は上記教育目標と分かりやすいキャッチフレーズとして「南小だいすき！」を掲げました。このだ・い・す・きの意味はお互いに認め合い、たたえ合い、向上していくという願いを込めたものです。

本年度の主な取り組みの成果

国語の研究をベースにした朝のスキルアップタイム（音読・漢字練習・読書）、給食後の読書タイムなどの積み重ねで国語の力が飛躍的に伸びてきました。

図書館を使った調べる学習コンクールでは、今年度も多くの賞をいただき、南小の伝統となりつつあります。

児童会活動では朝のあいさつ運動、陸前高田への支援活動、サプライズ祭りなどを通して児童の自主性が育ちました。

子どもたちの1日1日の生活の中で「いいね」が積み重なっていき、「すごいね」と思われる大きな挑戦につながり、「気になるね」と人をひきつけ、まわりを巻き込み、共にかかわり合う力が高まってきました。

保護者や地域の皆さま、教職員で協力し、がっちりやってこれたからこそだと思います。

今後とも学校教育目標の実現に向けて取り組みを進めていきますので、ご支援の程よろしく申し上げます。

知・徳・体の調和のとれた 児童の育成



はじめに

本校では、昨年度に引き続いて上記の教育目標を掲げ、確かな学力・豊かな心・健やかな体力の基盤づくりに尽力しています。今年度は、若い教師が多いため、資質向上のための教職員研修を重点課題としました。

取り組みの成果と課題

教職員研修は、知・徳・体に関連して、国語科の言語活動・特別支援教育・情報モラル・人権教育・道徳教育・体幹トレーニング実習などを実施しました。また、PTA活動や地域活動にも全教職員が関わり、貴重な体験ができました。

成果として、各学級で一人一人を大切にするユニバーサル視点に立った学習環境を築いていくことで、児童は集中して授業に臨み、全体的に聞く力と伝え合う力が高まってきたように思います。今後も、職員間の協力体制を強化し、播磨小のチーム力をさらに高めることで、児童と教職員全員の知・徳・体の力を伸ばしていきたいと思っています。

おわりに

保護者並びに地域の皆さま方、そして播磨町行政をはじめ各種関係機関の皆さま方には、本校の教育推進と環境整備にご尽力いただき、心より感謝いたします。来年度も、温かいご支援をよろしく願いいたします。

「未来を拓く子どもたちの豊かな人間力の育成」を目指して



子どもたちが心豊かに将来の夢や目標を持ってたくましく生き抜いていけるように、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育てるために、教職員が一丸となって取り組んで参りました。

本年度の主な取り組みの成果

①言語活動を通し、さらなる理数教育の充実

「説明する理数教育」をテーマとし、子どもたちの説明力の向上に取り組みました。この言語能力の向上は、理数科以外すべての学習の基盤となるものです。その結果、授業の中で質の高い話し合いができるようになってきました。また、公開授業や研修会を通して、教師の指導力が向上しました。

②学校・家庭・地域の連携の充実

学校公開や学校行事を通して、生き生きとした学校生活の様子を保護者や地域の方に見ていただくことが、子どもたちの大きな励みとなり、大きく成長しました。また、「登下校の見守り」や「学習支援ボランティア」、「灯^{ほた}足るの会」や「なでしこの会」など多くの方々のご協力により、子どもたちは安全でより良い教育環境の中で学校生活を送ることができました。

これからも、学校・家庭・地域がともに手を携えて、子どもたちの夢の実現を目指し、子どもたちを温かく育てていきたいと思っています。今後も、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

はりまっ子フェスティバル!! 播磨小学校

播磨小学校では、異年齢の児童間の交流を図るため、児童の代表委員会が主体となって「はりまっ子フェスティバル」を実施しています。

内容は各学級で主に低学年の子どもたちに何が喜んでもらえるかを考え、それを形にしていって取り組みです。

今年は初めて2年生も自分たちで出し物をしたいと、「魚釣り」や「空き缶タワー」・「箱の中、何だ?」などを実施しました。6年生では自分たちで劇を作って、実演し、見に来てくれる人を喜ばそうと必死で取り組みました。



12月15日の1・2時間目、当日は前半と後半に分かれており、学級の出し物を運営する時間といろいろな学級を回ってスタンプを集める時間が決まっています。



子どもたちは学級での役割をしっかりと果たすと共に、たくさんの学級を回って一生懸命スタンプを集めていました。どの

学級からも歓声が聞かれ楽しい時間を過ごしました。

特に高学年の児童が、低学年の児童のお兄さん、お姉さんとなって丁寧な対応をしている様子が見えてとてもほほえましかったです。こういった取り組みが、優しさや責任感だけでなく、感謝する心も育てていくのではないのでしょうか。

むかしあそびしゅうかい 播磨南小学校 1年生



地域の生き生きクラブの方に来ていただき、「むかしあそびしゅうかい」を行いました。

コマまわし、割り箸鉄砲、けん玉、あやとり、紙鉄砲、お手玉の6つのコーナーを作り、おじいちゃんやおばあちゃんに、それぞれの遊び方を教わりました。上手にお手本を見せてくれるおじいちゃんやおばあちゃんたちを、尊敬のまなざしで見入っている1年生でした。

初めは、上手にできなかったお手玉やコマまわしも少しコツを教わると、みるみる上達する子どもたちに、生き生きクラブの方たちも驚かされていました。

終わりの時間がくると、まだまだ名残惜しい気持ちでいっぱい1年生。「また一緒に遊びたい!」という声があちこちから聞こえてきました。

身近なものを使って考えられた昔の遊びの楽しさを知り、おじいちゃん、おばあちゃんたちと楽しい時間を過ごしました。

ゆとりある学校生活のためご協力をお願いします

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

児童・生徒のゆとりある生活の確保、心身のリフレッシュやスポーツ傷害などの防止、教職員が児童・生徒と向き合う時間の確保のため、県教育委員会では新対策プランを策定し、「ノー部活デー」や「教職員定時退勤日」を実施しています。保護者や地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

- ノー部活デー 平日週1日、休日月2回以上
 - 教職員定時退勤日 週1回以上
- ※実施日は各学校で設定します。



●保護者の皆様へ
温かな励ましと愛情のこもった厳しさで、子どもの成長を見守っていきましょう。

●一日の家庭学習時間のめやす
中学1・2年生 120分



●不安や悩みを周囲の励ましで成長へとつなげよう
心と体の成長がアンバランスで、誰もが不安や悩みを持つのがこの時期の子どもたちの特徴です。また、周りを気にして、他人の影響を受けやすいのもこの年代の特徴といえます。

家族や周囲の人からの励ましやアドバイスで自信をもつことが、大きな成長へとつながります。

【家庭学習は、とても重要】
【中学1・2年生①】
身につけるために

「学ぶ力」「学ぶ姿勢」を
播磨町家庭教育推進委員会

子どもたちの
かがやく未来のために
—家庭学習の推進—



播磨中学校

校長 木下 康雄

『基本的な学習・生活習慣の定着と育成』を目指して

「チーム播中」の組織力と、地域に開かれた信頼される学校の中で、「生きる力」の育成に取り組みました。



取り組みの成果と課題

○学習指導と生徒指導の充実

わかる楽しい授業を工夫し、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成に努めました。特に道徳では、教員の授業力向上や全クラスの授業公開を実施

しました。生徒指導では、生徒と教師の信頼関係を基本に関係機関との連携や早期対応・解決を図りました。

○学校行事・生徒会活動の充実

「あいさつ」からはじまる温かい人間関係づくりを目指し、思いやりとじじめのない学級を母体に、積極的な生徒会活動が生まれました。感動的な体育大会や文化祭などの行事を通し生徒は大きく成長しました。

○家庭・地域社会・関係機関との連携

オープンスクールや学校行事など生徒の活動の様子を保護者や地域の方に見ていただく「開かれた学校」として連携の機会を充実させました。また、播磨町や消防署、大学などと連携し、専門的な指導や支援に多くの方々の協力を得ることができました。

おわりに

今後とも保護者や地域の皆さま、関係団体のご理解やご支援をよろしくお願いいたします。

播磨南中学校

校長 森 敏雄

『社会的自立を目指し、未来に向かって主体的に生きる力の育成』

『あ（あいさつをしよう）
ひ（ひとの話を聞こう）
る（ルールを守ろう）』の推進



「あ・ひ・る」を継続し、「生徒のいるところに教師あり」を合い言葉にしての指導を心がけました。

『あ』：自らあいさつをする習慣がつくように指導してきました。

『ひ』：わかろうとして聴くことを指導してきました。

『る』：「みんなに感謝。笑顔あふれる南中へ」生徒会のスローガンの下、登下校のマナーやスマホ・携帯に関するルールづくりなど、意識改革を進めています。

新しい生徒会も「あ ひ る」を継承し、生徒・保護者・教職員が一丸となって、南中文化の高まりを目指しています。

本年度努力目標の成果と課題

○確かな学力

「家庭学習の手引き」を作成・配付・説明し、授業はもちろんのこと家庭学習の充実を図りました。学習規律の定着が進み、今後はALを取り入れた授業を展開して、学ぶ力の伸長を目指していきます。

○社会的自立

生徒が学校生活を安全、安心に、そして心豊かに過ごせるように基礎的環境を整備することが、集団生活における社会的自立につながります。さまざまな成功体験を積み重ねて、生徒は自身のキャリアを伸ばしています。

もっともっと魅力のある学校にしていけるため、地域の皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

※ AL (アクティブ・ラーニング)